

作成年月日：2021年4月2日

ご報告

久留米大学では、下記研究を実施するために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を活用させていただいていますが、本来2019年3月に公開すべき下記の患者様への大切なご案内が、事務手続きの不手際で遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。なお、すでに研究は終了し研究成果の公表となりますので、データの削除等ができないことも重ねてお詫び申し上げます。下記のご案内に該当する方で、ご意見やご不明な点などがございましたら、久留米大学病院臨床研究センター
電話：0942-65-3749（直通）（対応可能時間 平日9:00~16:00）までご連絡ください。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません

【研究課題名】

自己免疫性内分泌疾患発症機構の解明：免疫チェックポイント阻害薬誘発性内分泌疾患の検討

【研究責任者（試料・情報の管理責任者）】

久留米大学病院 内科講座 内分泌代謝内科部門 和田 暢彦

【今回の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2014年4月から2020年4月までの間
- 2) 受診科：久留米大学病院
- 3) 対象疾患名：悪性黒色腫、肺癌、腎細胞癌の治療で抗PD-1抗体および抗CTLA4抗体を使用した患者さん

【試料・診療情報等の項目】

試料：通常診療で採血された血液の残余血清（10mL）

診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、CT画像、MRI画像、血液検査結果、内分泌負荷試験結果 等）

【研究目的】

上記の診療情報および試料を使用し、当院における免疫チェックポイント阻害剤治療における内分泌系への影響を検討するため

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦2020年3月まで（すでに終了）

【利益相反に関する事項】本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【研究責任者】久留米大学医学部 内科講座 内分泌代謝内科部門 和田 暢彦

電話：0942-31-7563（直通）（対応可能時間 平日9:00~17:00）

研究番号 18257